

令和8年度（2026年度）

一般選抜学生募集要項

【インターネットを利用した出願です】

【前期日程】

出願期間 令和8年(2026年)1月26日(月)～2月4日(水)
試験日 令和8年(2026年)2月25日(水) 教育学部・経済学部・理工学部・
福祉健康科学部
令和8年(2026年)2月25日(水)・26日(木) 医学部
合格者発表 令和8年(2026年)3月6日(金)

【後期日程】

出願期間 令和8年(2026年)1月26日(月)～2月4日(水)
試験日 令和8年(2026年)3月12日(木) 教育学部・経済学部・医学部・
理工学部・福祉健康科学部
合格者発表 令和8年(2026年)3月20日(金)

不測の事態により、学生募集要項どおりに試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合は、試験の延期等の対応をとることがあります。
対応については、本学ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

大分大学ホームページ <https://www.oita-u.ac.jp/index.html>



令和7年(2025年)12月

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）の評価について

本学における一般選抜では、学力の3要素（①知識・技能の確実な習得 ②（①を基にした）思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）のうち、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）を、下表の試験科目等により評価します。

学部名	前期日程	後期日程
教育学部	グループディスカッション	グループディスカッション
経済学部	特色加点	小論文
医学部	面接	面接
理工学部	特色加点	面接
福祉健康科学部	面接	面接

※「特色加点」は志願者の申請を原則とし、申請がなければ大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストなどの合計点のみで合否判定を行います。

目 次

ページ

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	2
1. 募集人員	25
2. 出願資格	27
3. 志願学部・学科等	27
4. 出願期間及び出願手続	29
5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）	32
6. 個人情報の取扱い	32
7. 入学資格審査	33
8. 障がい等のある入学志願者の事前相談	33
9. 災害で被災した入学志願者の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮	33
10. 令和8年度（2026年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	34
◎大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項	40
11. 教科・科目に係る個別テスト等の日程及び試験時間	54
12. 受験に際しての注意事項	56
13. 試験場	56
14. 不正行為の取扱い	59
15. 合格者発表	59
16. 入学手続	60
17. 追加合格	60
18. 欠員補充第2次募集	61
19. 情報提供	61
20. 一般選抜個人成績の開示	61
21. 入試過去問題の使用	63
22. その他	63
23. 受験の際の宿泊	63
24. 大分大学学生寮のご案内（予告）	64
令和7年度（2025年度）入学者選抜試験実施状況	65
令和7年度（2025年度）入学者出身高校所在地別状況	66
令和7年度（2025年度）一般選抜合格者の成績	67
令和9年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）	68

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の9:00～20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日9:00～17:00) E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-Bridge System」(JBS)の操作方法 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：APP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせて活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では教科・科目に係る個別テストとグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜（初等中等教育コース）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・学校推薦型選抜（特別支援教育コース）

特別支援教育の担い手に必要な資質・能力をみるため、小論文、個人面接及びグループディスカッションを課しています（大学入学共通テストは課していません）。小論文、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科（音楽、美術、保健体育、技術、家庭）の試験を課しています。大学入学共通テストは所定の5つの区分から任意の3つを選択し、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分		検査項目	学力の3要素			求める学生像	
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組む意欲と情熱	学校教育への深い関心
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科・科目に係る個別テスト	○	○			
		グループディスカッション(調査書)		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション(調査書)		○	○	○	○
学校推薦型選抜(初等中等教育コース)	大学入学共通テスト	○	○				
		個人面接 グループディスカッション(調査書) (志望理由書) (推薦書)		○	○	○	○
		小論文	○	○			
	個人面接 グループディスカッション(調査書) (志望理由書) (推薦書)	○	○	○		○	○
学校推薦型選抜(特別支援教育コース)	大学入学共通テスト	○	○				
	教科の試験	○	○			○	
	個人面接 (調査書) (自己推薦書) (活動報告書)		○	○		○	○
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	教科の試験	○	○			○	
	個人面接 (調査書) (自己推薦書) (活動報告書)		○	○		○	○

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜（初等中等教育コース）において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望されます。学校推薦型選抜（特別支援教育コース）においては、高等学校等において学習する教科・科目の試験を課していませんが、これらの教科・科目を大学入学までに十分理解し、修得していることが望されます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望されます。

国語：他者の考え方・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解すると

ともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望されます。

数 **学** : 数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理 **科** : 理科の各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、科学的に思考する能力を身につける必要があります。また、科学的な法則を単に知識として暗記するのではなく、どのような過程で導き出されたか探究的に学ぼうとする姿勢が大切です。
なお、修得しておくべき科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の中から3科目以上です。

外国語（英語） : 外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望されます。
なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情 **報** : 情報と情報技術に関する基礎的な知識や技能、活用方法を身につけていることが必要です。また、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を修得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を持っていることが求められます。

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

1. 本学部は、経済学、経営学を中心にながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。
2. こうした人たちが、高度化・複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。
3. この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

1. 経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人
2. 自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人
3. 現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人
4. 責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人
5. 知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）
- ・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う6次産業、NPO・NGOなどを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

- ・公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生
- ・公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP (International Business Perspectives) コース】

- ・国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生
- ・地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

- ・企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生
- ・簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

- ・身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生
- ・そうした課題に対して、多様な形での関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

- ・持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生
- ・そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

- ・地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科6科目とし、個別検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

・総合型選抜

【英語資格・簿記資格に基づく選抜制度】

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。

簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身についた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

・帰国生徒選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・社会人選抜

大学入学共通テストを免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・第3年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観

入試区分	入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像	
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○
	教科・科目に係る個別テスト		○	○		○
	特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○
		小論文	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文		○	○		○
	面接（グループ・ディスカッション）		○	○	◎	○
	調査書		○		○	○
	志望理由書			○	○	○
	推薦書		○		○	○
総合型選抜	小論文		○	○		○
	面接		◎	○	◎	○
	調査書		○		○	○
	志望理由書			○	○	○
帰国生徒選抜	小論文		○	○		○
	面接				◎	○
	調査書		○		○	○
社会人選抜	小論文		○	○		○
	面接				◎	○
	調査書		○		○	○
その他	教科の試験		◎			○
	小論文		○	○		○
	面接				◎	○
	調査書		○		○	○
私費外国人留学生選抜	教科の試験		◎			
	小論文		○	○		○
	面接				◎	○
第3年次編入学試験	調査書		○		○	○
	教科の試験		◎			
	小論文		○	○		○
	調査書		○		○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

情報：情報を科学的に理解することに加え、情報の主体的な活用への関心が必要です。

大分大学医学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

医、看護及び先進的医療に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学、看護学及び医療科学の知識並びに技術と技能、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、医療従事者等、更には医学、看護学研究者、大学・企業研究者等を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

〈医学科〉

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

〈看護学科〉

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

〈先進医療科学科〉

領域・業種の垣根を超えた情報交換と交流の橋渡しができる能力を有し、大学・企業研究者、医療従事者、起業家、医療事業経営マネジメントを行える人材となり、進化した医工連携、深化した医学生命科学連携の将来の担い手として活躍できる人材を養成します。

求める学生像

〈医学科〉

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

（一般選抜地元出身者枠、総合型選抜地域枠）

- 5 大分県の地域医療に貢献したいという強い意志と、地域医療に対する適応力を持っている人

〈看護学科〉

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に关心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

〈先進医療科学科〉

- 1 医療に携わる様々な領域で研究者、科学者、起業家などとして地域社会の発展と人類の健康・福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 好奇心旺盛で、様々な分野に興味があり、多様性のある活動ができる人
- 3 他者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 4 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、自らたゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる自主性、持続力と忍耐力を持っている人
- 5 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を持っている人

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般選抜と総合型選抜を、看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を、先進医療科学科では一般選抜を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に第2年次編入学試験を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした第3年次編入学試験を実施しています。

各選抜試験で重視する観点〈医学科〉

入試区分		検査項目	学力の3要素			求める学生像			大分県の地域医療に貢献する強い意志と地域医療への適応力を有する
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		教科・科目に係る個別テスト	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○ (地元出身者枠)
総合型選抜	総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○					
		個人面接		○	○	○	○	○	○ (地域枠)
		グループディスカッション		○	○				○ (地域枠)

各選抜試験で重視する観点<看護学科>

入試区分		検査項目	学力の3要素			求める学生像		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		小論文	○	○				
		個人面接		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個人面接		○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○					
	個人面接		○	○	○	○	○	○
	グループディスカッション		○	○			○	○

各選抜試験で重視する観点<先進医療科学科>

入試区分		検査項目	学力の3要素			求める学生像		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	地域発展・人類福祉への貢献の意思を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		教科・科目に係る個別テスト	○	○				
		個人面接		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		小論文	○	○				
	個人面接		○	○	○	○	○	○

・一般選抜

《医学科前期日程》

一般選抜では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストは6教科8科目を課しています。前期日程において、教科・科目に係る個別テストでは理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接ではコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

《看護学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度を評価するため、大学入学共通テストについては6教科7科目を課します。また、前期日程では、小論文と面接を、後期日程では面接を課します。小論文では、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。その際、高等学校等の調査書及び志願調書を参考資料とします。

《先進医療学科前期日程・後期日程》

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストについては6教科8科目を課します。また、前期日程において、教科・科目に係る個別テストでは「数学」、「理科」(物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択)、「英語」により、医学・医療を学ぶための基礎学力に加え、自然科学や多様な情報に対する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」では課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。後期日程において、「小論文」では医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」では課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

・総合型選抜

《医学科》

総合型選抜は、自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜します。一般選抜と同じく大学入学共通テストは、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、6教科8科目を課しています。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・学校推薦型選抜

《看護学科》

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、調査書、推薦書及び自己推薦書を参考資料とします。

・社会人選抜

《看護学科》

社会人選抜では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

- ・第2年次編入学試験

　　『医学科』

第2年次編入学試験では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れたグループディスカッションを行います。

- ・第3年次編入学試験

　　『看護学科』

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に修得することが必要です。

- ・一般選抜、学校推薦型選抜

　　『医学科前期日程』

国 語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数 学：数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理 科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外 国 語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

情 報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保 健 体 育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

　　『看護学科前期日程・後期日程・学校推薦型選抜』

国 語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

数 学：数学I及び数学IIの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理 科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外 国 語（英語）：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

情 報：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。

保 健 体 育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

〈先進医療科学科前期日程・後期日程〉

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。
- 情報**：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

・総合型選抜

〈医学科〉

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。
- 情報**：問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要な高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

＜数理科学プログラム＞

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

＜知能情報システムプログラム＞

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

＜DX人材育成基盤プログラム＞

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、新しい付加価値の創造を主導でき、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

＜物理学連携プログラム＞

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

＜電気エネルギー・電子工学プログラム＞

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

＜機械工学プログラム＞

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

＜知能機械システムプログラム＞

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

＜生命・物質化学プログラム＞

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

＜地域環境科学プログラム＞

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

＜建築学プログラム＞

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）及び面接により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。面接は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム及び知能機械システムプログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（6教科8科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通

テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い合わせ、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テストを免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第2年次編入学、第3年次編入学

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分			学力の3要素			求める資質・能力			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働力	数学・理科の基礎学力	知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・ねばり強さ	自立的に考え、かつ他者と協同して取り組む姿勢	リーダーシップと行動力を發揮する意志
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		教科・科目に係る個別テスト(数・理)	○	◎		◎			
		特色加点			☆		☆	☆	☆
	日後期	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		面接(口頭試問を含む)	○	◎	○	○	◎	○	○
	学校推薦型選抜I	一般女子推薦	基礎能力試験	◎	○		○		
		面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
		サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎
		面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
学校推薦型選抜II	一般女子推薦	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		小論文	○	◎			○		
		面接	○	◎	○		◎	○	○
		調査書	○				○	○	○
総合型選抜			面接(筆記試験・小論文・口頭試問を含む)	○	○	○	○	◎	○
			自己推薦書		○			○	
			活動報告書		○	○	○	○	○
			調査書	○				○	○
その他	帰国生徒選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	私費外国人留学生選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	第2年次編入学、第3年次編入学試験	面接(筆記試験・口頭試問を含む)	○	○	○	○	◎	○	○
		提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部の教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望れます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え方・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、現代の国語、言語文化の他、国語の論理性や文学性、表現性に関する科目、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望れます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望れます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情報：情報科学・情報技術に関する基礎的な理解力を身につけ、科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う意欲を持ち、情報社会に主体的に参画するための資質・能力が必要です。

大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人物像を求める。

- ・大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
 - ・福祉社会の実現に关心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
 - ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
 - ・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
 - ・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
- 〈理学療法コース〉
- ・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人
- 〈社会福祉実践コース〉
- ・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人
- 〈心理学コース〉
- ・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多元的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

- ・一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別検査を課します。大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、個別検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

- ・学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多元的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケーション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

- ・総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストは6～7教科8科目とし、コースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の3要素			本学部が求める力			
			知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働力	地域や現 代社会へ の関心	意欲 積極性	コミュニケーション力・リー ダーシップ	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		小論文	○	◎	○	◎	○		
		面接		○	◎	○	◎	◎	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		小論文	○	◎	○	◎	○		
		面接		○	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜		小論文	○	◎	○	◎	○		
		面接		○	◎	○	◎	◎	
総合型選抜		大学入学共通テスト	◎	○					
		小論文	○	◎	○	◎	○		
		個別面接		○	◎	○	◎	◎	
		グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎	

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望されます。

国 **語**：他者の考え方・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、修得しておくべき科目は現代の国語、言語文化です。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望されます。

数 **学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理 **科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望されます。なお、修得しておくべき科目は英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲです。

情報：情報社会における個人の役割や責任を理解するとともに、さまざまな事象を情報との結びつきから捉え、情報技術を活用しながら、問題の発見・解決に取り組むための基礎的な能力を修得する必要があります。なお、修得しておくべき科目は情報Ⅰです。

1. 募集人員

学部	課程・学科・コース・プログラム	入学定員 【注1】	一般選抜	
			前期日程	後期日程
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	140	72
		特別支援教育コース	10	3
	小計	150	75	25
経済学部	総合経渉学科	270	120	65 【注2】
	小計	270	120	65
医学部	医学科	100	一般枠 55 地元出身者枠 10 【注3】	—
	看護学科	60	35	10 【注4】
	先進医療科学科	生命健康科学コース	20	15
		臨床医工学コース	15	11
	小計	195	126	19
理学部	理工学科	数理科学プログラム	395	257 【注5】
		知能情報システムプログラム		
		DX人材育成基盤プログラム		
		物理学連携プログラム		
		電気エネルギー・電子工学プログラム		
		機械工学プログラム		
		知能機械システムプログラム		
		生命・物質化学プログラム		
		地域環境科学プログラム		
	建築学プログラム	395		53 【注5・6】
	小計	395	257	53
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース	30	22
		社会福祉実践コース	35	19
		心理学コース	35	27
	小計	100	68	7
合計		1110	646	169

【注1】 入学定員には、学校推薦型選抜、総合型選抜の募集人員が含まれており、各学部の学校推薦型選抜、総合型選抜の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜で補充することができます。

【注2】 経済学部一般選抜後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員(若干名)を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出了場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者を決めることができます。

【注3】 医学部医学科一般選抜前期日程において、一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員に満たない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合は合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

【注4】 医学部看護学科一般選抜後期日程の募集人員には社会人選抜の募集人員(若干名)を含みます。そのため、この入試で合格者が出了場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者数を決めることができます。

【注5】 理工学部一般選抜前期日程と後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員(若干名)を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出了場合は、その人数を考慮して、前期日程、後期日程の合格者数を決めることができます。

【注6】 数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程のプログラム仮配属はありません。

【理工学部一般選抜について】

理工学部理工学科一般選抜（前期日程）では、出願時に全 10 プログラム（数理科学、知能情報システム、DX 人材育成基盤、物理学連携、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、地域環境科学、建築学）から、第 1 志望から順に最大第 10 志望まで選んで出願することができます。

また、理工学部理工学科一般選抜（後期日程）では、出願時に 7 プログラム（知能情報システム、DX 人材育成基盤、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、建築学）から、第 1 志望から順に最大第 7 志望まで選んで出願することができます。ただし、後述する理科の科目選択によるプログラム制限がある場合はこの限りではありません。

合否判定は、受験者を成績順に並べ、上位より志望プログラムに仮配属を行います。募集の目安は下記のとおりです。合否判定及びプログラム仮配属についての詳細は 49~51 ページを参照してください。

プログラム群	プログラム	募集の目安	
		前期日程	後期日程
数学、情報システム	数理科学プログラム	13	斜線
	知能情報システムプログラム	37	9
	DX 人材育成基盤プログラム	20	7
物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	斜線
	電気エネルギー・電子工学プログラム	43	9
機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
	知能機械システムプログラム	16	5
化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	35	5
環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	斜線
	建築学プログラム	28	8
合計		257	53

※数理科学プログラム、物理学連携プログラム及び地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。

プログラム配属及び入学後の教育方法について

一般選抜による合格者は入学時に合格したプログラムに仮配属されます。

1 年次には専門性の近いプログラム群に所属し、分野的に共通の基盤となる基礎的な学問体系にかかる理解を深めます。2 年次以降に各プログラムへ本配属となり、専門性を高めていきます。基本的には仮配属プログラムと同じプログラムに本配属されますが、分野を変更したい学生に向けて全プログラムを対象とした転プログラムが可能です。

また、2 年次で転プログラムしておらず、転プログラム後も 4 年での修了が見込める場合に限り、学部の定める基準を満たしていれば、3 年進級時の転プログラムも可能です。

転プログラムは、学部の定める成績基準を満たすとともに、転入プログラムの受入上限（おおむね募集の目安の 110% 程度）を超えない範囲で認められます。

※転プログラム希望者が受入上限数を超えた場合には、学部の定める方法で審査を行い判定します。

2. 出願資格

1 令和8年度「大学入学共通テスト」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年（2026年）3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年（2026年）3月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年（2026年）3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（33ページの「7. 入学資格審査」を参照）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

2 医学部医学科地元出身者枠の志願者は、上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。

(1) 大分県内の小学校、中学校又は高等学校を卒業し、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者（令和8年（2026年）3月に大分県内の高等学校卒業見込みの者を含む。）

(2) 卒業後、初期研修2年間を含む3年間を大分大学医学部附属病院あるいは大分大学が指定する医療機関等で臨床研修に従事することを確約できる者

※地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第2志望を選択します。

3. 志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般選抜（教科・科目に係る個別テスト等）について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありませんが、同一試験日程内で複数の学部・学科等にまたがって出願することはできません。

※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照

（1）教育学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

（2）医学部

志願できる学科・コースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです（ただし、医学科では後期日程は実施しません）。

（3）理工学部

（ア）志願できるプログラムは、前期日程で第10志望まで、後期日程で第7志望までです。また、全ての志望順位の記入は必須ではありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

（イ）前期日程において、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場合は、教科・科目に係る個別テストの「物理」を選択していることが必要です。教科・科目に係る個別テストの「物理」を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。

(ウ) 前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストの「物理」を選択していることが必要です。大学入学共通テストの「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。

(4) 福祉健康科学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。(ただし、心理学コースは後期日程は実施しません。)

4. 出願期間及び出願手続

一般選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願です。

出願に当たっては、下記（1）～（4）の全ての手続が必要です。いずれか1つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間：令和8年（2026年）1月26日（月）～2月4日（水）17:00まで（必着）

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは1月26日（月）9時から可能です（下記（1）～（4））。

※前期、後期とも出願する場合は、前期、後期それぞれで対応が必要となります。

（1）インターネット出願システムにアクセス・入力・登録（一時保存可）

下記のURLからインターネット出願システムにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）なお、このURLは本学ホームページからもリンクしています。

インターネット出願システム <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、**一時保存する**ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。

スマートフォンを利用するなど印刷できない場合は、画面上で十分確認してください。

※入学検定料の入金前であれば、登録内容の削除が可能です。

（2）入学検定料17,000円の支払い（別途払込手数料990円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続完了後は、登録内容の変更はできません。

（3）証明写真データのアップロード及び登録

（4）「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに**出願書類送付**

「入学検定料の支払い」「証明写真データの登録」「共通テスト成績請求登録」の全てを完了したら印刷が可能となりますので、インターネット出願システムから**A4**サイズの普通紙に**カラー印刷**（**医学科、先進医療科学科は両面**）し、「宛名ラベル」を市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、「**速達書留**」で**郵送**してください。

【注】出願書類提出期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに郵送してください。

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL：0120-752-257 (出願登録期間の9:00～20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日9:00～17:00) E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-Bridge System」(JBS)の操作方法 等

出願に必要な書類等

(1) 出願書類等 (出願期間に間に合うよう準備をしてください。)

書類等名	内容等	該当者	
インターネット出願システムより 登録・印刷	出願確認票 (提出用)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続き」→「出願書類」の「3. 出願書類の郵送」の「No. 1 出願確認票 (提出用)」を A4サイズ の普通紙に カラー印刷 (医学科、先進医療科学科は両面) して提出してください。	全員 (前期、後期とも出願する場合は前期、後期それぞれで対応が必要です。)
	令和8年度 大学入学共通テスト 成績請求情報の提供 (印刷不要)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「共通テスト成績請求登録」から以下の項目を入力して、登録してください。 ・共通テスト出願サイトの「ユーザID (メールアドレス)・パスワード」	
	(証明写真データ の登録)	インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「写真の登録・確認」から、志願者本人の写真をアップロードし、登録してください。 ※写真は、100KB～5MBのjpg又はpngデータとし、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを登録してください(横に伸びたものなど、本人確認に適さない写真は登録しないでください)。	
	宛名ラベル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続き」→「出願書類」の「3. 出願書類の郵送」の「No. 3 宛名ラベル」を印刷し、29ページの(4)のとおりに貼り付けてください。	
志願者が各自で準備するもの	調査書	(1) 高等学校等を卒業した者及び令和8年(2026年)3月卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身高等学校長等が令和7年(2025年)4月以降に作成し厳封したもの。 ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、高等学校長等が作成した、①「調査書が発行できない旨の理由書」、②「卒業証明書」、③「成績証明書(又は単位修得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。なお、③「成績証明書(又は単位修得証明書)」が得られない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書(又は単位修得証明書)」が発行できない旨の理由書」を③の代わりに提出してください。	全員 (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)
		(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、 合格成績証明書 をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。	
		(3) 高等専門学校第3学年修了(見込みを含む。以下同じ。)者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省所定の調査書に準じて作成したものを持って調査書に代えることができます。	
		(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した(見込みを含む。以下同じ。)者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、ヨーロピアン・バカロレア資格(欧州連合構成国)取得者、GCE-Aレベル資格取得者、インターナショナルAレベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。	
		(5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は、当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。 ※改姓等により、現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。	
	小学校、中学校又 は高等学校の卒業 証明書	出身学校長が証明したものを提出してください。なお、小学校、中学校及び高等学校の複数が大分県内の場合は、いずれか1つの卒業証明書を提出してください(高等学校卒業見込みの者は、卒業見込み証明書でも可)。 ※「卒業証書の写し」は不可。必ず「卒業証明書」を提出してください。 ※改姓等により、現在の氏名と卒業証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。	医学部医学科 地元出身者枠のみ
	志願調書	医学部看護学科(前期日程・後期日程)を志願する者は、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、 志願者本人が自筆 で記入してください。	医学部看護学科 のみ

	第1段階選抜 合否通知用 返信用封筒	市販の封筒（長形3号）に志願者の郵便番号・ 住所・氏名を明記し、 410円分の切手を貼って ください。	医学部医学科・看護学科・先進医療科学科 福祉健康科学部理学療法コース 社会福祉実践コース 心理学コース (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)
入 学 檢 定 料 (17,000円)		<p>インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払いください。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。</p> <p>(ア) 入学検定料を振込んだが出願しなかった場合（返還額：17,000円） (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合（返還額：17,000円） (ウ) 出願受付後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（返還額：13,000円） (エ) 医学部又は福祉健康科学部の第1段階選抜で不合格となった場合（返還額：13,000円）</p> <p>※(ア)、(イ)に該当する場合は、32ページ「(4) 入学検定料の返還請求」を参照してください。</p> <p>※(ウ)又は(エ)に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p> <p>災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）へ連絡してください。（33ページ参照）</p>	全員 (前期、後期とも出願する場合は前期、後期それぞれに入学検定料が必要です。)
専用サイト (J-Bridge System) より登録	特色加点申請書	<p>インターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」（電子申請システム）にアクセスし、所定の項目を入力するとともに、その根拠となる資料等がある場合は登録してください。</p> <p>【申請期間：令和8年（2026年）1月26日（月）～2月4日（水）】</p> <p>※特色加点の詳細は、経済学部前期日程42～43ページ、理工学部前期日程46～48ページを参照してください。</p> <p>※「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。</p> <p>※出願書類を大学へ送付後も上記期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなりますので注意してください。</p> <p>登録内容について、当該サイトより印刷したものを控えとして保管してください（提出の必要はありません）。</p> <p>※印刷は登録画面にある「印刷する」からブラウザの印刷機能を利用してください。</p> <p>インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点の対象になりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」に登録も行ってください。</p>	経済学部前期日程及び理工学部前期日程の申請者のみ

（2）出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の総合型選抜及び学校推薦型選抜合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、教科・科目に係る個別テスト等を受験しても本学の合格者とはなりません。
- ※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照
- (イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。
- (ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (エ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (オ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (カ) 出願に当たっては、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目（35～39ページ参照）を受験しているか、必ず志願者本人が確認してください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果、

志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL : 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが出願しなかった場合、入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後直ちに、次の①～⑦を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、封筒(表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしたもの。)に入れ、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

- ・入学検定料返還請求願に記載する事項

①前期日程か後期日程か、②学部名、③整理番号、④氏名(フリガナ)、⑤郵便番号及び住所、⑥連絡先電話番号、⑦返還請求理由

- ・請求期限：令和8年(2026年)2月19日(木)

- ・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL : 097-554-7471

※入学検定料の返還は、3月以降になります。

5. 受験票(受験番号確定メールの送信・受験票の印刷)

受験番号確定メールは**2月10日(火)**に送信します(医学部及び福祉健康科学部を除く)。

メール受信後、インターネット出願システムの「申し込み一覧画面」から受験票を各自で**A4**サイズ普通紙に**カラー印刷**して**試験当日持参**してください。

また、**試験当日は大学入学共通テスト受験票も持参**してください。

なお、第1段階選抜を行う可能性がある**医学部は44ページ、福祉健康科学部は52ページ**に記載の**【第1段階選抜について】**を確認してください。

※メール送信日から3日経過しても受験番号確定メールが届かない場合は、速やかに学生支援部入試課に連絡してください。

6. 個人情報の取り扱い

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

(3) 一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

7. 入学資格審査

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申出を行い、関係書類を令和 7 年（2025 年）12 月 19 日（金）（ただし、大学入学共通テストを受験後、本学に志願変更した場合は令和 8 年（2026 年）1 月 21 日（水））までに提出してください。

＜参考＞学校教育法施行規則第 150 条第 7 号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

（1）申出期限：令和 8 年（2026 年）1 月 8 日（木）17：00 までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。申出期限経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

（2）申出方法：本学ホームページより「令和 8 年度（2026 年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

※大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は、その写しを添付してください。

（3）申出先：〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471

9. 災害で被災した入学志願者の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮

災害に関する特別措置（入学検定料免除等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>）でお知らせします。

10. 令和8年度（2026年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

教科・科目名の表記方法について

(1) 大学入学共通テストの教科及び科目名は、次のように略しています。

教科名	教科略称	科目名	科目略称
国語	国	国語	国
地理歴史 ※1	地歴	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 地理総合／歴史総合／公共	地総・地探 歴総・日探 歴総・世探 地総／歴総／公
公民 ※1	公民	公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合／歴史総合／公共（再掲）	公・倫 公・政経 地総／歴総／公（再掲）
数学	数	数学I、数学A 数学II、数学B、数学C	数I・数A 数II・数B・数C
理科 ※2 ※3 ※4	理	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学	物基／化基／生基／地基 物 化 生 地
外国語	外	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	英 独 仏 中 韓
情報	情	情報I	情I

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することはできません。また、「地理総合／歴史総合／公共」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※2 「基礎を付した科目」とは、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を指します。

※3 「基礎を付さない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。

※4 「同一名称を含む出題範囲・科目」とは、『物理基礎』と「物理」、『化学基礎』と「化学」、『生物基礎』と「生物」、『地学基礎』と「地学」を指します。

(2) 教科・科目に係る個別テストの出題教科・科目名は、上記(1)によるほか次のように略しています。

教科名	科目名	科目略称
国語	現代の国語 言語文化	現国 言文
数学	数学A 数学B 数学C 数学I 数学II 数学III	数A 数B 数C 数I 数II 数III
英語	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII 英語コミュニケーションIII 論理・表現I 論理・表現II 論理・表現III	英コI 英コII 英コIII 論表I 論表II 論表III

【教育学部】

*1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

※4 「理科Ⅰ」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択している場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

※4.5. 教科・科目にかかる個別テスト等の「□」で示した配点は、教科・科目に係る個別テスト等で選択する教科の得点を会員登録時に使用します。

◎40~53 ページの「大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項」も確認してください。

【経済学部】

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和7年度(2025年度) 志願倍率〕	学力検 査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										特色 加点	その他の 入試方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計		
経済学部 [4.4] 270人 前期 120 後期 65 推薦 55 総合 30	総合経済学科 前期 2月 25 日 後期 3月 12 日	国	国	数 外	数 I、数 II、数 A、数 B、数 C 英コ I、英コ II、英コ III、 論表 I、論表 II、論表 III	から1 ※4 ※数 A は「図形の性質」「場合の数と確 率」 ※数 B は「数列」 ※数 C は「ベクトル」	大学入学共通 テスト	100	100×2	100×2	100	200	50			850		学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 社会人 私費外国人 追加合格 第2次募集
		地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経				教科・科目に係る 個別テスト等			[200]※4		<200>※4				200		
		公民					計	100	200	[400]※4 <200>	100	[200] <400>※4	50			1050	20	
		数	数 I・数 A と数 II・数 B・数 C の 2															
		理	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から 1															
		外	英、独、仏、中、韓から 1															
		情	情 I [6教科8科目又は7教科8科目]															
		国	国				大学入学共通 テスト	100	100×2	100		100	50			550		
		地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経				教科・科目に係る 個別テスト等						200			200		
		公民					計	100	200	100		100	50	200		750		

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※2 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目的得点を合否判定に使用します。

※3 「数学」の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

※4 教科・科目に係る個別テスト等及び計の[]と< >で示した配点は、教科・科目に係る個別テスト等で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

◎40~53 ページの「大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項」も確認してください。

【医学部】

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 令和7年度(2025年度) 志願倍率	学力検 査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公 民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計			
医学部 [4.2] 195人 前期 126 後期 19 推薦 15 総合 35	医学科 100人 前期 65 (一般枠 55) 後期 (地元出身者枠 10) 総合 35 (一般枠 22) (地域枠 13)	前期 2月 25 日 と 26 日	国	国	数理 外 その他	数 I 、数 II 、数 III 、数 A 、数 B 、数 C 物基・物 化基・化 生基・生 英コ I 、英コ II 、英コ III 、 論表 I 、論表 II 、論表 III 面接(個人面接) ※数 A は「図形の性質」「場合の数と確 率」 ※数 B は「数列」 ※数 C は「ベクトル」「平面上の曲線と複 素数平面」	約3倍	大学入学共通 テスト	100	50	50 × 2	50 × 2	100	50			500	総合型選抜 追加合格 第2次募集	
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 公・倫、公・政経			教科・科目に係る 個別テスト等			100	100 × 2	100			150	550			
			数	数 I ・数 A と数 II ・数 B ・数 C の 2			計	100	50	200	300	200	50		150	1050			
			理	物、化、生から 2															
			外	英、独、仏、中、韓から 1															
			情	情 I [6教科8科目]															
看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	前期 2月 25 日 と 26 日 後期 3月 12 日	国	国	その他 その他	小論文 面接(個人面接) 面接(個人面接)	約3倍 約 10 倍	大学入学共通 テスト	100	50	50 × 2	100	100	50			500	学校推薦型選抜 社会人 追加合格 第2次募集	
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総・歴総/公、 公・倫、公・政経			教科・科目に係る 個別テスト等							100	100	200			
			数	数 I ・数 A と数 II ・数 B ・数 C の 2			計	100	50	100	100	100	50	100	100	700			
			理	物、化、生から 1 ※ 3															
			外	英、独、仏、中、韓から 1															
			情	情 I [6教科7科目]															
			国	国															
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総・歴総/公、 公・倫、公・政経															
			数	数 I ・数 A と数 II ・数 B ・数 C の 2															
			理	物、化、生から 1 ※ 3															
先進医療科学 35人 生命健康科学コース 20人 前期 15 後期 5 臨床医工学コース 15人 前期 11 後期 4	先進医療科学 35人 生命健康科学コース 20人 前期 15 後期 5 臨床医工学コース 15人 前期 11 後期 4	前期 2月 25 日 と 26 日 後期 3月 12 日	国	国	数理 外 その他	数 I 、数 II 、数 III 、数 A 、数 B 、数 C 物基・物 化基・化 生基・生 英コ I 、英コ II 、英コ III 、 論表 I 、論表 II 、論表 III 面接(個人面接) ※数 A は「図形の性質」「場合の数と確 率」 ※数 B は「数列」 ※数 C は「ベクトル」「平面上の曲線と複 素数平面」	約3倍 約 10 倍	大学入学共通 テスト	200	100	100 × 2	100 × 2	200	100				1000	追加合格 第2次募集
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総・歴総/公、 公・倫、公・政経			教科・科目に係る 個別テスト等			100	100	100			100	400			
			数	数 I ・数 A と数 II ・数 B ・数 C の 2			計	200	100	300	300	300	100		100	1400			
			理	物、化、生から 2															
			外	英、独、仏、中、韓から 1											150	150			
			情	情 I [6教科8科目]											150	1300			
			国	国															
			地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総・歴総/公、 公・倫、公・政経															
			数	数 I ・数 A と数 II ・数 B ・数 C の 2															
			理	物、化、生から 2															

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

※2 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎40~53ページの「大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項」も確認してください。

【理工学部】

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和7年度(2025年度) 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									特色加点	その他の 入試方法等	
				教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計		
理工学部 [2.4] 395人 前期 257 後期 53 推薦 59 総合 26	物理学連携プログラム 前期 10 電気エネルギー・ 電子工学プログラム 前期 43 後期 9 推薦 11 総合 2	前期 2月 25日	国	国	数理	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 } から1(ただし、第一志望 化基・化 } とする場合は物理必須)	※数Aは「图形の性質」「場合の数と確 率」 ※数Bは「数列」 ※数Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素 数平面」		大学入学共通テスト	150	75	50×2	200	25			650	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集
			地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※1		教科・科目に係る 個別テスト等				200	200				400			
			公民			計		150	75	300	300	200	25		1050			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2											20			
			理	物と 化、生から1 } の2														
			外	英、独、仏、中、韓から1														
			情	情I [6教科8科目]														
理工学科	機械工学プログラム 前期 42 後期 10 推薦 10 総合 5	後期 3月 12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)		大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200	25		925		
			地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※1		教科・科目に係る 個別テスト等								200	200			
			公民			計		125	75	300	200	200	25		200	1125		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2														
			理	物と 化、生から1 } の2														
			外	英、独、仏、中、韓から1														
			情	情I [6教科8科目]														
理工学科	数理科学プログラム 前期 13 知能情報システム プログラム 前期 37 後期 9 推薦 9 総合 5	前期 2月 25日	国	国	数理	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物基・物 } から1 化基・化 } から1		大学入学共通テスト	150	75	50×2	50×2	200	25		650	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集	
			地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※1		教科・科目に係る 個別テスト等				200	200				400			
			公民			計		150	75	300	300	200	25		1050			
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2											20			
			理	物 } から2 化 生 } から2														
			外	英、独、仏、中、韓から1														
			情	情I [6教科8科目]														
理工学科	DX人材育成基盤プログラム 前期 20 後期 7 推薦 6 総合 7	後期 3月 12日	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)		大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200	25		925		
			地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※1		教科・科目に係る 個別テスト等								200	200			
			公民			計		125	75	300	200	200	25		200	1125		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2														
			理	物 } から2 化 生 } から2														
			外	英、独、仏、中、韓から1														
			情	情I [6教科8科目]														
理工学科	生命・物質化学 前期 35 後期 5 推薦 12 地 域 環 境 科 学 前期 13 総合 2	生命・物質化学 前期 35 後期 5 推薦 12 地域環境科学 前期 13 総合 2	国	国	その他	面接(集団面接又は個人面接)		大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200	25		925	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集	
			地歴	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経 } から1 ※1		教科・科目に係る 個別テスト等								200	200			
			公民			計		125	75	300	200	200	25		200	1125		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B・数Cの2														
			理	物 } から2 化 生 } から2														
			外	英、独、仏、中、韓から1														

【福祉健康科学部】

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔令和7年度(2025年度) 志願倍率〕	学力検査等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									その他の 入試方法等					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計					
福祉健康 科学部 [3.6] 100人 前期 68 後期 7 推薦 12 総合 13	理学療法 コース 30人 前期 22 後期 3 総合 5	前期 2月 25日	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	100×2	200	30			930	総合型選抜 追加合格 第2次募集				
			地歴				教科・科目に係る 個別テスト等							300	100	400					
			公民				計	200	100	200	200	200	30	300	100	1330					
			数	理	物、化、生、地から2																
			理																		
		後期 3月 12日	外	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	100×2	200	30			930					
			英、独、仏、中、韓から1				教科・科目に係る 個別テスト等							100	300	400					
			情				計	200	100	200	200	200	30	100	300	1330					
			[6教科8科目]	社会福祉 実践 コース 35人 前期 19 後期 4 推薦 12	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	100	200	30			930	学校推薦型選抜 追加合格 第2次募集			
			地歴				教科・科目に係る 個別テスト等							300	100	400					
福祉 健康 科学 科	社会福祉 実践 コース 35人 前期 19 後期 4 推薦 12		公民				計	200	200	200	100	200	30	300	100	1330					
			数	理	物基/化基/生基/地基、物、化、生、地から1 ※3	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	100	200	30		930				
			理						教科・科目に係る 個別テスト等												
			外						計	200	200	200	100	200	30	100	300				
			情	後期 3月 12日	英、独、仏、中、韓から1				大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	100	200	30		930				
			[6教科8科目又は7教科8科目]						教科・科目に係る 個別テスト等						100	300	400				
			[6教科8科目又は7教科8科目]						計	200	200	200	100	200	30	100	300	1330			
			外	心理学 コース 35人 前期 27 総合 8	その他	小論文 面接(グループディスカッション ※6)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	(100×2)	100×2	①(100)	200	30			930	総合型選抜 追加合格 第2次募集			
			情					教科・科目に係る 個別テスト等		(100)	②(100×2)			100	300	400					
			[6教科8科目又は7教科8科目]					計	200	200	200	100	200	30	100	300	1330				
			外																		
			情																		

※1 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目的得点を合否判定に使用します。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目的組合せを選択することはできません。

※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目的得点を合否判定に使用します。

※4 「理科」の科目において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目的得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

※5 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目。

※6 受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

◎大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等、その他の注意事項

全学部共通事項

【大学入学共通テストについて】

(1) 「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。

「英語」は、リーディング 100 点、リスニング 100 点、合計 200 点の配点となっていますが、学部ごとに下記のように 200 点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

・教育学部、経済学部、福祉健康科学部

リーディング 160 点、リスニング 40 点 合計 200 点

・医学部、理工学部

リーディング 100 点、リスニング 100 点 合計 200 点

(2) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。なお、本学では令和 8 年度（2026 年度）の入学試験において、令和 7 年度以前の大学入学共通テストの成績は利用しません。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

教科・科目に係る個別テスト等で必要な試験科目等を受験しなかった場合は 0 点ではなく、不合格となります。

【追加合格、欠員補充第 2 次募集について】

後期日程入学手続締切期日までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第 2 次募集を行うこともあります。

【その他】

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等及び出身高等学校長等が作成した調査書等に基づいて総合判定します。

教育学部

【大学入学共通テストについて】

- 35ページの大学入学共通テストの()で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	<p>地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経</p> <p>①物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から1 ≈3 ②物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から2 ≈4</p> <p>※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」から2科目</p> <p>※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。また、「地総/歴総/公」を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。</p> <p>※3 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。</p> <p>※4 「理科」において、同一名称を含む出題範囲・科目同士を選択していた場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないととなります。</p>	<p>「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、「理科」において2科目を受験した場合は、</p> <p>「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 + 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 = 高得点のもの</p> <p>「理科」の第1解答科目の得点 + 「理科」の第2解答科目の得点 = 合否判定に使用する得点</p>

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

- 国語、数学、外国語から試験開始後に1教科を選択して受験してください。
- グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え方・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。
- 調査書はグループディスカッションの参考にします。

後期日程

- 小論文はコースごとに学校教育に関する出題を行い、文章の理解力、論理的思考力、表現力、並びに教育に対する関心などを評価します。
- グループディスカッションは、コースごとに行います。出題されたテーマについて、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力や自身の考え方・意見の表現力、集団における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。
- 調査書はグループディスカッションの参考にします。

【同点者について】

- それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

経済学部

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

(1) 教科・科目に係る個別テスト等の配点等の〔 〕と〈 〉で示した配点は、教科・科目に係る個別テストで選択した教科の得点を合否判定に使用します。

(2) 合否判定について

前期日程は、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績に特色加点を加えた合計点により合否判定を行います。特色加点は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみ（特色加点は0点）で合否判定を行います。

(3) 特色加点について

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に提出してください。

上記の活動の具体例としては、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動となります。

根拠となる資料等の具体例としては、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や、活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。

これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、本学部がアドミッション・ポリシーに定める「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる取組のタイトル

高等学校入学以降、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、興味と関心をもつことのできた活動、取組はなんですか。その取組のタイトルを記入してください。

[2] 特色加点の対象となる取組の内容

特色加点の対象となる取組について400字以内で具体的に記入してください。

例えば、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動について述べてください。

[3] 上記[2]に関する根拠資料や参考資料等

根拠となる資料等として、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等がある場合は登録してください。

なお、登録は下記の種類のファイルとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

対象とするファイルの拡張子：png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv
(ファイル登録は1つまで、ファイルサイズの上限は300MB)

[4] アドミッション・ポリシーと入学後の学びとの関連性

大学の入学後、上記[2]の経験をどのように活かせますか、また活かそうと考えていますか。本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえつつ、200字程度で述べてください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】 ※実際の入力画面とは異なることがあります。

登録・編集

1
2

大分大学
一般選抜前期日程_経済学部（プレビュー）（23tw9f5tu5）
一般選抜前期日程_経済学部（申請1）

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともに提出してください。

タイトル

活動内容タイトル 必須

高等学校入学以降、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、興味と関心をもつことのできた活動、取り組みはなんですか。その取り組みの名称を記入してください。

特色加点の対象となる取り組みの内容 必須

特色加点の対象となる取り組みについて400字以内で具体的に記入してください。
例えば、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動について述べてください。

※下記イメージ画像の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。

アドミッション・ポリシーや入学後の学びとの関連性

編集

提出する

申請項目一覧へ戻る

後期日程

・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入学共通テストを補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力（あるいは大意把握力） (b) 論理的思考力 (c) 表現力

これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

医学部

【第1段階選抜について】

- ・医学科、看護学科及び先進医療科学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- ・医学科は一般枠と地元出身者枠を合わせて募集人員の約3倍まで、看護学科は募集人員の約3倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約3倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

後期日程

- ・看護学科は募集人員の約10倍まで、先進医療科学科は各コースそれぞれ募集人員の約10倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を実施します。

※第1段階選抜については、令和8年（2026年）2月10日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。なお、合格者には併せて面接の集合時刻を案内します。

試験当日は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から受験票を各自でA4サイズ普通紙にカラー印刷し、大学入学共通テスト受験票と併せて持参してください。

※受験番号確定メールは送信しません。

※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和8年（2026年）2月10日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
- (4) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (5) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。
- (6) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (7) 先進医療科学科において、理科の科目は、試験開始後に1科目を選択してください。
- (8) 先進医療科学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (9) 先進医療科学科において、理科の科目（物理、化学、生物）間で20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。
- (10) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への关心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

後期日程

- (1) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (2) 先進医療科学科の小論文は、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価します。
- (3) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

【同点者について】

同点者がいる場合は、次のとおりの取扱いとします。

前期日程

- ・医学科は大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの「数学I、数学A」も同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。
- ・看護学科は大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。

後期日程

- ・看護学科は大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。

【一般枠と地元出身者枠の選抜方法について】

- (1) 地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第2志望を選択します。
- (2) 一般枠と地元出身者枠それぞれの募集人員を満たすまで、専願者と併願者（第1志望）を総合得点の高い順から志望する枠の合格者とします。
- (3) 一般枠、地元出身者枠のどちらか一方の合格者が募集人員を満たした以降は、募集人員を満たしていない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。ただし、当該枠の専願者及び併願者の成績が著しく低い場合には合格者とはせず、当該枠の募集人員に達するまで、募集人員を満たした枠より総合得点の高い順から合格者とします。

理工学部

【大学入学共通テストについて】

前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストで「物理」を選択していることが必要です。「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。また、これらのプログラムを配属対象から外した結果、どのプログラムの配属上限数内にも収まらない場合は、不合格と判定されます。

※物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストにおいて「物理」・「化学」若しくは「物理」・「生物」の組み合わせで科目選択をしなければなりません。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程

(1) 理科の出題範囲は次のとおりです。

- (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(2) 物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場合は、教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択している必要があります。

・教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者は、数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムから第1志望を選び、これらのうち1つ以上を志望プログラムに選択してください。

・教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。この場合、当初の志望プログラム順位は第二志望以降に順次繰り下げられます。教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのどのプログラムも志願していない場合は、合否判定は行われませんので注意してください。

・教科・科目に係る個別テストの『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第2志望以下とする場合は、教科・科目に係る個別テストの『物理』は選択しなくても志願可能ですが、入学後、これらのプログラムに配属された場合は高校レベルの物理分野の基礎能力が必要となりますので、考慮して志望プログラム順位を決めてください。

・具体的な例を 50~51 ページ「※前期日程の合否判定における教科・科目に係る個別テスト「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

(3) 特色加点について

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、根

拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に申請してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、プレゼンテーションファイルや論文等の学習成果物、活動に関わる広報・新聞等の印刷物やホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学者選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を發揮する意志」について総合的に評価します。

(4) 特色加点申請書の登録要領

特色加点申請書はインターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」から入力してください。

(注) インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点対象にはなりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」の登録も行ってください。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる活動や学びの取組のタイトル

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取組の名称を記入してください。申請できる活動や学びの取組は1件です。既卒者は高等学校卒業後の取組も申請できます。

[2] 特色加点の対象となる活動や学びの取組の概要

申請する活動や学びの取組の概要と取り組んだ経緯、取組に対する申請者の思いや工夫や苦労した点などについて、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

[3] 上記[2]に関する根拠資料や参考資料等

申請する活動や学びの取組の根拠となる資料がある場合は登録してください。添付できるファイルは3つ（1ファイルあたりのサイズの上限は300MB）までで、ファイルの種類（利用可能な拡張子）は以下のとおりとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv、html

[4] 活動や学びの取組を通して身についたことと入学後の学びとの関連性

①志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などを記述してください。

②申請した活動や学びを通じて身についたことや成長した点、及びそれらの経験を大学入学後の学習や活動にどのように活かしたいかについて、①で記述した内容と本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、400字以内で具体的に記入してください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】 ※実際の入力画面とは異なることがあります。

登録・編集

1 2

大分大学
一般選抜前期日程_理工学部（プレビュー）（3r4zvcz75e）
一般選抜前期日程_理工学部（申請1）

大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、Webを通じて出願時に申請してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、プレゼンテーションファイルや論文等の学習成果物、活動に関わる広報・新聞等の印刷物やホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学者選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を發揮する意志」について総合的に評価します。

タイトル入力

必須

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取組の名称を記入してください。申請できる活動や学びの取組は1件です。既卒者は高等学校卒業後の取組も申請できます。

0文字 / 50文字

特色加点の対象となる活動や学びの取組の概要

申請する活動や学びの取組の概要と取り組んだ経緯、取組に対する申請者の思いや工夫や苦労した点などについて、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

※下記イメージ画面の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。

活動や学びの取り組みを通して身についたことと入学後の学びとの関連性

編集

×

申請項目一覧へ戻る

提出する

後期日程

面接に先立って、志望動機、理工学に関する分野への関心、本学入学後の目標などに関する「志望理由書」への記入を求めます。面接は個人面接又は集団面接で行い、提出書類と志望理由書を参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見るとともに積極性、自己表現力を評価します。また、理工学部で必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。また、集団面接ではグループディスカッションは行いません。

【合否判定について】

各プログラムの募集の目安は以下のとおりとし、プログラム配属上限数は募集の目安を元に決定されます。

各プログラムの募集の目安

学科	プログラム群	プログラム	募集の目安	
			一般選抜	
			前期日程	後期日程
理工学科	数学、情報システム	数理科学プログラム	13	/
		知能情報システムプログラム	37	9
		DX人材育成基盤プログラム	20	7
	物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	/
		電気エネルギー・電子工学プログラム	43	9
	機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
		知能機械システムプログラム	16	5
	化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	35	5
	環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	/
		建築学プログラム	28	8
合計			257	53

前期日程

前期日程は、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの成績、並びに特色加点により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で実施します。

- (1) 「1次選考」では、大学入学共通テスト得点と教科・科目に係る個別テスト得点を合計した成績上位者において、合格基準を上回った受験者を「1次選考適格者」とします。
- (2) 「1次選考適格者」について、大学入学共通テスト得点と教科・科目に係る個別テスト得点に特色加点を合計した成績順を「特色加点付加順位」とします。
- (3) 「2次選考」では、「特色加点付加順位」の順に並べて、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。
- (4) (3) の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第10志望まで全て埋める必要はありませんが、「2次選考」において記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

※具体的な例を 50~51 ページ「※前期日程の合否判定における教科・科目に係る個別テスト「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

後期日程

後期日程は、大学入学共通テスト及び面接の成績により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で行います。

(1) 大学入学共通テスト得点と面接得点を合計した成績順に並べ、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。

(2) (1) の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第7志望まで全て埋める必要はありませんが、各受験者が記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

【同点者について】

前期日程・後期日程

同点者がいる場合は、大学入学共通テストの「数学I、数学A」の高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの「数学I、数学A」も同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。

※前期日程の合否判定における教科・科目に係る個別テスト「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例

説明に当たっては、便宜的に次の表の「略称」を用います。

■のプログラムは、第1志望とする場合に教科・科目に係る個別テスト「理科」の科目指定がないものを表します。

■のプログラムは、第1志望とする場合に教科・科目に係る個別テスト「理科」の科目指定がある（『物理』を選択する必要がある）ものを表します。

プログラム名	略 称
数理科学プログラム	数理科学
知能情報システムプログラム	知能情報
DX人材育成基盤プログラム	DX基盤
物理学連携プログラム	物理連携
電気エネルギー・電子工学プログラム	電気電子
機械工学プログラム	機械工学
知能機械システムプログラム	知能機械
生命・物質化学プログラム	物質化学
地域環境科学プログラム	地域環境
建築学プログラム	建築学

■…「理科」の指定科目なし ■…「理科（物理）」の指定科目あり

ケース1：教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択し、第1志望が教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ第1志望が募集の目安に達していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・・・・・・・・・・
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	・・・・・・・・・・・・

↓志望順位の入れ替えなし。「電気エネルギー・電子工学プログラム」に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・・・・・・・・・・
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	・・・・・・・・・・・・

ケース2：教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択せず、第1志望が教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第1志望が募集の目安に達していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	・・・・・・・・・・・・
受験者B	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学	・・・・・・・・・・・・

↓第5志望が第1志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第1志望に繰り上がった「知能情報システムプログラム」に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	・・・・・・・・・・・・
受験者B	化学	知能情報	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	物質化学	・・・・・・・・・・・・

ケース3：教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択せず、第1志望が教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第1志望が募集の目安に達した場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	・・・・・・・・・・・・
受験者C	化学	電気電子	機械工学	物理連携	数理科学	DX基盤	地域環境	・・・・・・・・・・・・

↓第4志望が第1志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第2志望以降の募集の目安に達していない最上位「電気エネルギー・電子工学プログラム」（電気エネルギー・電子工学プログラムが募集の目安に達していない場合）に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	・・・・・・・・・・・・
受験者C	化学	数理科学	電気電子	機械工学	物理連携	DX基盤	地域環境	・・・・・・・・・・・・

ケース4：教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択せず、第1志望が教科・科目に係る個別テストで『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、第2志望以降に教科・科目に係る個別テストの理科の科目指定がないプログラムを選択していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・・・・・・・・・・
受験者D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	建築学	—	・・・・・・・・・・・・

↓第1志望に入れ替えることが可能なプログラムがないため、全て不合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	・・・・・・・・・・・・
受験者D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	建築学	—	・・・・・・・・・・・・

福祉健康科学部

【大学入学共通テストについて】

- 39ページの大学入学共通テストの()で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理	<p>地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経</p> <p>①物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から1 ≈3 ②物基/化基/生基/地基、 物、化、生、地から2 ≈4</p> <p>※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」 から1科目、又は「地理歴史」及び「公民」から 1科目と「理科」から2科目</p> <p>※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する 場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選 択することはできません。また、「地総/歴総 /公」を選択した場合は、選択解答した問題 の出題範囲の科目と同一名称を含む科目 の組合せを選択することはできません。</p> <p>※3 「理科」の科目において、2科目受験した場 合は、第1解答科目の得点を合否判定に使 用します。</p> <p>※4 「理科」において、同一名称を含む出題範 囲・科目同士を選択していた場合は、第1解 答科目の得点を合否判定に使用します。 「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験し ていない場合は、出願資格を満たさないこ ととなります。</p>	<p>「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、 「理科」において2科目受験した場合は、</p> <p>「地理歴史」及び 「公民」の第1解 答科目の得点 + 「理科」の第1 解答科目の得点</p> <p>「地理歴史」及び 「公民」の第2解 答科目の得点 + 「理科」の第2解 答科目の得点</p> <p>高得点 のもの =</p> <p>合否判 定に使 用する 得点</p>

【第1段階選抜について】

各コースにおいて、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- 各コースの募集人員の約3倍までを合格者とし、その合格者に対して小論文及び面接を実施します。

後期日程

- 各コースの募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して小論文及び面接を実施します。

※第1段階選抜については、令和8年（2026年）2月10日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。試験当日は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から受験票を各自でA4サイズ普通紙にカラー印刷し、大学入学共通テスト受験票と併せて持参してください。

※受験番号確定メールは送信しません。

※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和8年（2026年）2月10日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

前期日程・後期日程

- 小論文及び面接（※）を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。なお、面接の得点が、面接の配点の20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

※面接は、理学療法コース及び社会福祉実践コースでは「個人面接」、心理学コースでは「グループディスカッション」を行います。なお、心理学コースでは、受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

【同点者について】

- ・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

11. 教科・科目に係る個別テスト等の日程及び試験時間

【前期日程】

- 教科等欄の△は選択を示します。
- 筆記試験、面接及びグループディスカッションの入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了してください。
- 筆記試験は当該試験終了まで退室できません。
- 遅刻による試験室への入室限度時刻は、次のとおりです。

筆記試験…試験開始後20分

面接及びグループディスカッション…試験開始時刻

- 面接及びグループディスカッションの終了時刻は、最終面接者（グループ）の終了予定時刻であり、変更することがあります。

各面接終了者（グループ）から帰ることができます。

試験日		2月25日(水)			2月26日(木)
学部	課程・学科・コース等	教科等	試験時間	備考 (教科・科目の選択方法等)	教科等、集合時刻等
教育学部 学校教育教員養成課程	初等中等教育コース 特別支援教育コース	△国語 △数学 △英語	10:00~11:20	国語、数学、英語から1教科を試験開始後に選択	教科等、集合時刻等
		グループディスカッション	13:00~17:00		
経済学部	総合経済学科	△数学 △英語	10:00~11:20	数学、英語から1教科を出願時に選択	
医学部	医学科	英語	9:00~10:20	理科は物理、化学、生物から2科目を試験開始後に選択	面接 午前の部 8:30集合(予定) 午後の部 12:45集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
		数学	11:10~12:30		
		理科	13:50~15:50		
理工学部	看護学科	小論文	9:30~11:30	面接 午前の部 9:00集合(予定) 午後の部 13:25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。	面接 午前の部 9:00集合(予定) 午後の部 13:25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
		英語	9:00~10:20		
		数学	11:10~12:30		
		理科	14:20~15:50		
理工学部 理工学科	全プログラム	数学	11:20~13:00	理科は物理、化学から1科目を出願時に選択	
		理科	14:20~15:50		

福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文	10:00~11:30		
			面接	12:30~18:00		
	心理学科	心理学コース	小論文	10:00~11:00		
			面接	12:30~18:00		

【後期日程】

- ・筆記試験、面接及びグループディスカッションの入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該試験終了まで退室できません。
- ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、次のとおりです。

筆記試験…試験開始後20分

面接及びグループディスカッション…試験開始時刻

- ・面接及びグループディスカッションの終了時刻は、最終面接者（グループ）の終了予定時刻であり、変更することがあります。

各面接終了者（グループ）から帰ることができます。

試験日		3月12日(木)			
学部	課程・学科・コース等	教科等	試験時間	集合時刻等	
教育学部	学校教育 教員養成課程	初等中等教育コース 特別支援教育コース	小論文	9:30~10:30	・9:00までに集合し、入室着席（試験室は当日掲示）してください。
			グループディスカッション	12:00~18:00	
経済学部	総合経済学科	小論文	10:00~11:40	・9:30までに入室着席（試験室は当日掲示）を完了してください。	
医学部	看護学科		面接	午前の部 9:00~12:30 午後の部 13:30~16:00	午前の部 8:30集合（予定） 午後の部 13:00集合（予定） ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
	先進医療学科		小論文		
			面接	12:30~17:00	
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム DX人材育成基盤プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命・物質化学プログラム 建築学プログラム	面接	10:00~16:00	・9:30までに集合（試験室は当日掲示）してください。 ・試験時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、試験場に昼食を持参してください。
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文 面接	10:00~11:00 12:30~18:00	・9:30までに入室着席（試験室は当日掲示）を完了してください。

12. 受験に際しての注意事項

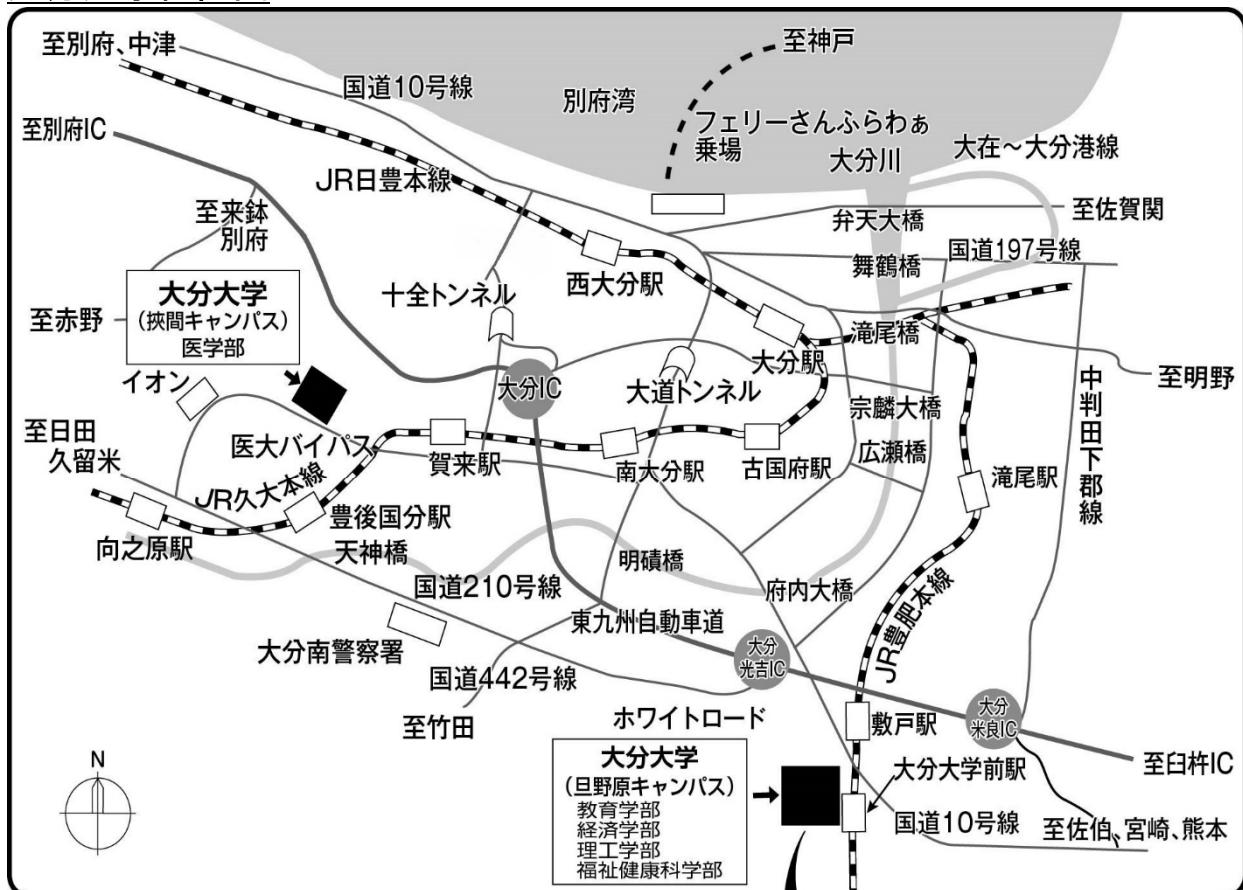
- (1) 入室着席は試験開始時刻の30分前までに完了し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 筆記試験中は、本学受験票及び**大学入学共通テスト受験票**を必ず机上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、計時機能のみの時計（キッチンタイマー・学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの。）、目薬以外のものを机上に置かないでください。
なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 出願時に届け出た教科・科目以外のものを受験した場合、当該教科・科目の成績は無効となります。
- (5) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (6) 試験当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (7) 携帯電話等の電子機器類（以下、携帯電話等という。）の使用について
 - ・試験室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
 - ・試験時間中は、時計代わりに携帯電話等の計時機能を使用することはできません（机上に置くこともできません）。
 - ・試験室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
 - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種にかかわらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身に付けずに、かばん等にしまってください。
 - ・アラームの解除方法が分からず、電源の切り方が分からず、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

13. 試験場

学部名	試験場	所在地
教育学部		
経済学部	だんのはる 大分大学旦野原キャンパス	おおあざだんのはる 大分市大字旦野原700番地
理工学部		
福祉健康科学部		
医学部	はさま 大分大学挾間キャンパス	ゆふしはさまちいだいがおか 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

- (1) 試験場の下見は、前期日程は2月24日（火）の14:00～16:00、後期日程は3月11日（水）14:00～16:00の間に行ってください。ただし、建物内に入ることはできません。
- (2) 各学部試験場及び試験室は試験当日に掲示板で確認してください。
- (3) 試験当日、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。
なお、旦野原キャンパスには自動車での入構はできますが、駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関等を利用して下さい。また、挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用して下さい。
- (4) 挾間キャンパスでは、試験時間中に医学部附属病院高度救命救急センターのドクターへりによる患者緊急搬送が行われる場合があり、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、あらかじめご了承ください。

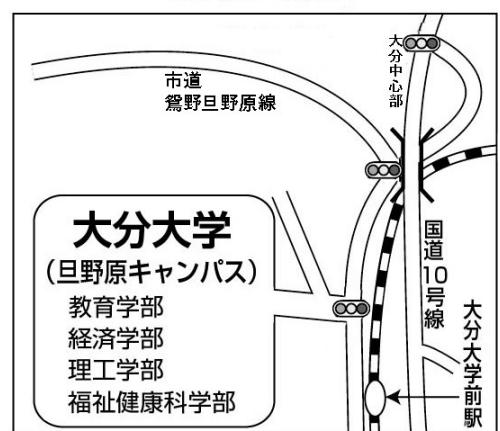
大分大学位置図



大分市内中心部バスのりば案内図



大学入口案内図



だん の はる
旦野原キャンパス

(教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部：大分市大字旦野原 700 番地)

＜JR利用＞

J R 豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約 15 分）、徒歩約 10 分

＜バス利用＞

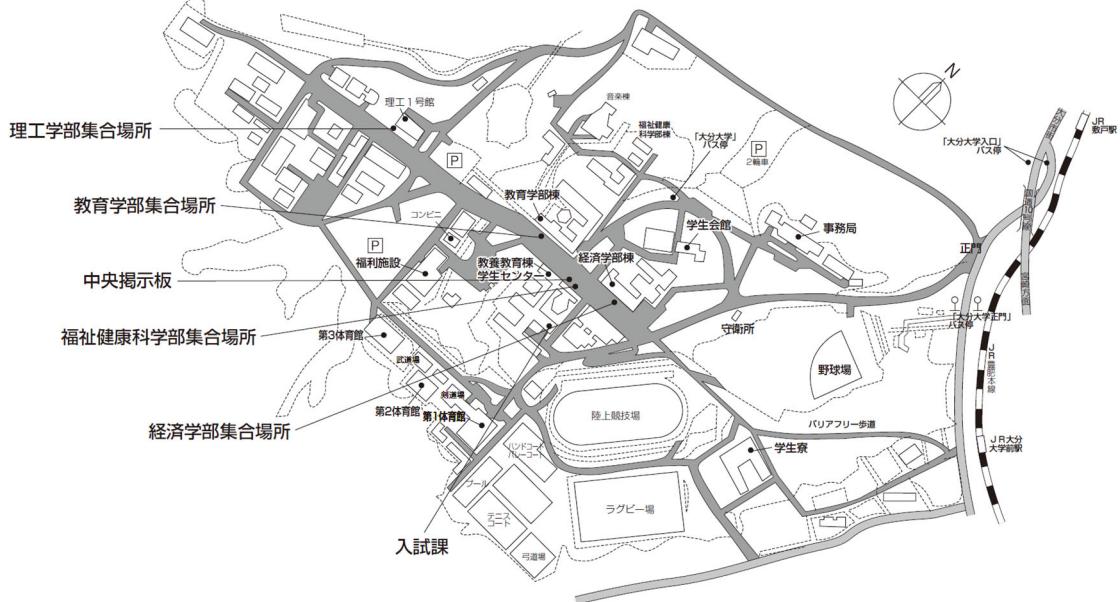
〔中央通り①のりば (トキハデパート前)〕又はJR大分駅府内中央口 (北口) 〔大分駅前3番又は4番のりば〕から

○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次、白杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、徒歩約10分

○「次、吉井、佐伯」着を利用して約10分、「六分六寸六吉」下车、徒歩約10分
(詳細は時刻表で確認してください。)

(許袖は時刻表で確認してください。)



はさま 挟間キャンパス

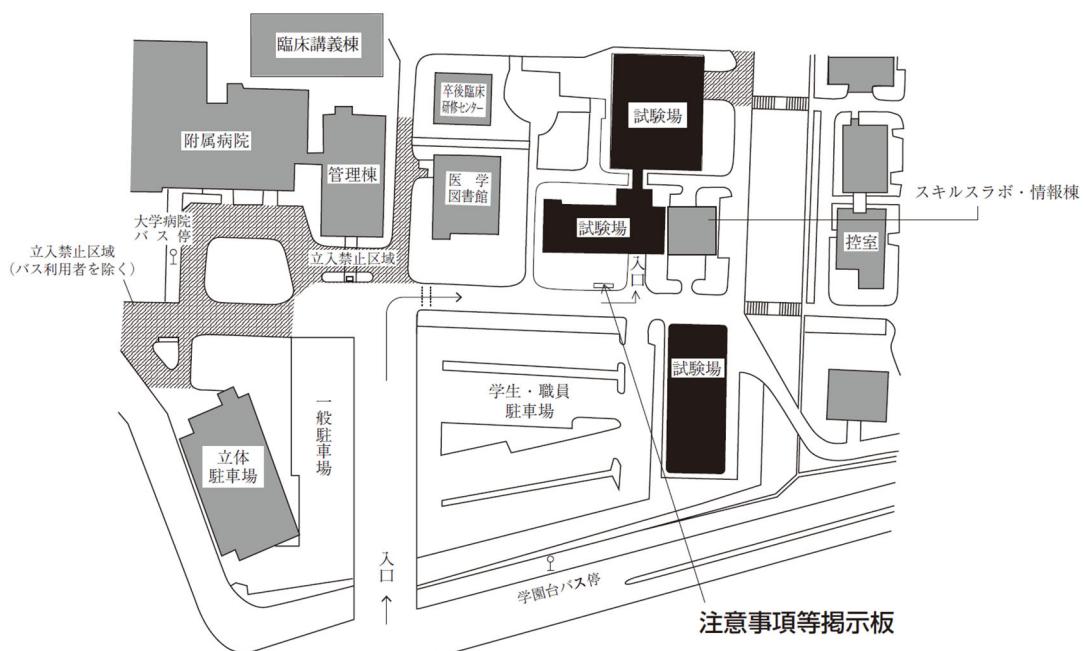
(医学部:由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

＜バス利用＞

〔中央通り②のりば（トキハデパート前）〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前5番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用（約40分）、「大学病院」下車

（詳細は時刻表で確認してください。）



14. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことを行うと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験科目等の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察への被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (ア) インターネット出願登録の際に故意に虚偽の情報を入力したり、出願確認票、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（出願確認票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入することなど。）をすること。
- (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（33 ページ参照）が必要です）。
- (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

15. 合格者発表

合格者発表日時	前期日程	令和8年（2026年）3月6日（金）10:00
	後期日程	令和8年（2026年）3月20日（金）10:00

上記の日時に本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）の「入試最新情報」に合格者受験番号を掲載します。掲載期間は1週間程度です。また、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。なお、学内の掲示は行いません。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

16. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

期間	前期日程	令和8年（2026年）3月9日（月）～15日（日）17:00まで（必着）
	後期日程	令和8年（2026年）3月23日（月）～27日（金）17:00まで（必着）

※入学に必要な情報等の登録は「Web 入学手続システム」から行ってください。

※上記期間内に「入学料の納入」「Web 入学手続」「入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

※入学手続に、大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」の提示が必要となります。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることができます。その場合は事前に、学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）に連絡してください。

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000 円

授業料 535,800 円（前期分 267,900 円 後期分 267,900 円）

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金（貸与奨学金ではありません。）の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください（入学料徴収猶予の手続きを行ってください）。3人以上の子どもを扶養する多子世帯で一定の条件を満たす者は、所得制限なく入学料が無償となりますので、該当すると思われる者は入学料は納付しないでください（入学料徴収猶予の手続きを行ってください）。

また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります（最大6か月）。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除、3人以上の子どもを扶養する多子世帯に該当する者は無償となります。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金（貸与奨学金ではありません。）の予約候補者、3人以上の子どもを扶養する多子世帯に該当する者又は入学料の徴収猶予を希望する者は入学料を払い込まずに入学手続期間に必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

（3）国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

17. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

追加合格の有無については、令和8年（2026年）3月28日（土）9:00頃に本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）へ掲載します。電話等による照会には一切応じません。

追加合格候補者には、3月28日（土）9:00以降3月31日（火）までの間に、出願時に登録された連絡先へ候補者の上位から順に電話で直接連絡し、本人確認を行った上で入学の意思確認を行います。その際、確実に連絡がとれるように措置を講じておいてください。

なお、候補者が電話に出ず連絡がつかない場合や、候補者以外の方しか電話に出ない場合は時間を空けて再度電話しますが、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に候補者本人に連絡がつかない場合は候補者から除外し、次位の候補者へ連絡を行います。

また、候補者本人に連絡がついた場合でも、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に入学の意思が確認できない場合は、入学の意思がないものとして取り扱いますので、仮に候補者となった場合に入学を希望するか否かについて、あらかじめ決めておいてください。

追加合格による欠員補充の作業が終了した場合は、その旨を本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) へ掲載します。

連絡期間	令和8年（2026年）3月28日（土）～令和8年（2026年）3月31日（火）
------	---

18. 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、入学手続完了者がなお各学部の入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

この場合、詳細については本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) にて公表します。

19. 情報提供

出願状況等を、下記のとおり、本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) に掲載します。

区分	掲載期間
出願状況	令和8年（2026年）1月26日（月）17:00～3月5日（木）
合格者受験番号（前期日程）	合格者発表日から1週間程度
合格者受験番号（後期日程）	
追加合格実施状況	令和8年（2026年）3月28日（土）9:00頃～3月31日（火）

20. 一般選抜個人成績の開示

本学では、一般選抜個人成績を、受験者本人からの請求に基づいて、下記の要領で開示します。

（1）開示請求の方法

インターネット出願システム上で、出願登録時に「入試成績の開示請求」の欄を「請求する」と選択してください。

※一般選抜個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

（2）開示請求期間

令和8年（2026年）1月26日（月）～2月4日（水）17:00まで

（3）開示内容

開示内容は、次のとおりとします。ただし、「最高点・最低点及び平均点」については、合格者が10名以内の場合は不開示とします。

（ア）本学入学試験成績

【教育学部、経済学部後期日程】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【経済学部前期日程】

合格者・不合格者（共通）：特色加点を含めた総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【医学部医学科】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。

合格者：合格した募集区分（一般枠又は地元出身者枠）における合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

不合格者：第1志望の募集区分（一般枠又は地元出身者枠）における合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【医学部看護学科・先進医療科学科】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【理工学部前期日程】

合格者・不合格者（共通）：特色加点を含めた総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。

合格者：合格したプログラムにおける特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点並びに合格者順位。

不合格者：第1志望のプログラムにおける特色加点を含めた合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【理工学部後期日程】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）。

合格者：合格したプログラムにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

不合格者：第1志望のプログラムにおける合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

【福祉健康科学部】

合格者・不合格者（共通）：総得点（受験した科目等ごとの内訳を含む。）、合格者（追加合格者を除く。）の最高点・最低点及び平均点。

（イ）大学入学共通テスト成績

本学受験に必要な科目についてのみ合否判定に使用した点数を開示します。

（4）開示期間 ※開示期間以外は成績開示を行いません。

令和8年（2026年）6月1日（月）～6月30日（火）

（5）開示の方法

- ・入学試験個人成績開示をオンライン上で実施します。
- ・開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、入学試験個人成績を確認できます。
- ・詳細は、令和8年5月中旬ごろに本学ホームページに掲載します。

（6）手数料

1選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

(7) 注意事項

- (ア) 開示請求期間を過ぎての開示請求は受け付けません。
- (イ) 郵送、電話、メール及び本学入試課窓口での開示請求は受け付けません。
- (ウ) 既納の手数料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・入学検定料と手数料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ・入学検定料と手数料を誤って二重に払い込んだ場合

21. 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています（「数学」及び「小論文」は除く。）。

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者にわかる形で使用過去問題を公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。
<https://www.nyushikakomon.jp/>

22. その他

不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課（TEL：097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

23. 受験の際の宿泊

宿泊については大分大学生活協同組合でも案内しています。希望する者は下記 URL（大分大学生活協同組合ホームページ）を確認してください。

<https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ooita-coop/>

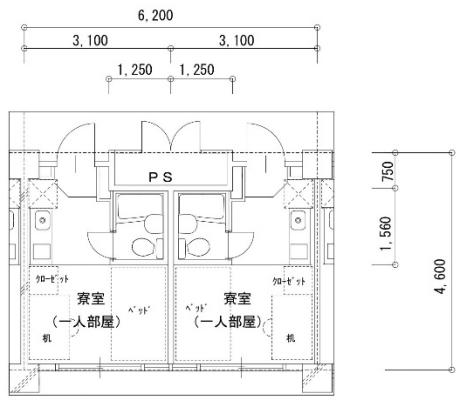
24. 大分大学学生寮のご案内（予告）

※内容は変更になる可能性があります。正式な募集内容については、本学ホームページへ掲載する募集要項をご覧ください。

学生の居住施設として、旦野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

《学生寮の概要》



（上図は2部屋を示します。）



←部屋の様子はこちらから

対象学生	収容 人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

（パリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。（主に、肢体不自由のある学生用））
男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12m²）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、
UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット
配線・TV配線付

《必要経費》

居室使用料 (維持管理費を含む)	水道料	インターネット使用料 (全員加入)	維持管理一時金 (退去時原形復旧費)
22,000円／月	2,000円／月	2,037円／月	26,400円／入居時

・電気料は自己負担となります（ガスは使用しません）。

※物価や管理費の変動に伴い、料金は変更となることがあります。

《入寮許可期間等》

■入寮許可期間：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

2年次編入学生…3年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

3年次編入学生…2年間

大学院生…標準修業年限（課程により2年間～4年間）

■募集人員：募集要項にてご確認ください。

《選考区分等》

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	令和7年（2025年）12月上旬～令和8年（2026年）2月4日（水）	
結果通知	令和8年（2026年）3月11日（水）	令和8年（2026年）3月20日（金）

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

《入寮者募集要項の入手方法》（募集要項公表予定：令和7年（2025年）12月上旬）

本学ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ→学生生活→学生寮・アパート）

右の二次元バーコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課学生寮担当 TEL：097-554-7454 E-mail：gakuryo-ml@oita-u.ac.jp



令和7年度(2025年度) 大分大学入学者選抜試験実施状況

	選抜区分		一般選抜(前期日程)						一般選抜(後期日程)						学校推薦型選抜						総合型選抜						帰国・社会人・外国人選抜				合計														
	学科・コース等		募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	合格倍率	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学	募集	志願	志願倍率	受験	合格	入学										
教育学部	初等中等教育コース	72	126	1.8	82	72	68	1.1	23	222	9.7	44	37	34	1.2	35	58	1.7	58	35	35	1.7	10	13	1.3	13	7	7	1.9							140	419	3.0	197	151	144				
	特別支援教育コース	3	5	1.7	5	3	3	1.7	2	18	9.0	4	2	2	2.0	5	8	1.6	8	5	5	1.6													10	31	3.1	17	10	10					
	教育学部 計	75	131	1.7	87	75	71	1.2	25	240	9.6	48	39	36	1.2	40	66	1.7	66	40	40	1.7	10	13	1.3	13	7	7	1.9							150	450	3.0	214	161	154				
経済学部	総合経済学科	120	247	2.1	239	151	134	1.6	65	752	11.6	258	84	68	3.1	55	105	1.9	105	56	56	1.9	30	84	2.8	83	30	30	2.8	若干	5	5	4	1	270	1,193	4.4	690	325	289					
	経済学部 計	120	247	2.1	239	151	134	1.6	65	752	11.6	258	84	68	3.1	55	105	1.9	105	56	56	1.9	30	84	2.8	83	30	30	2.8	若干	5	5	4	1	270	1,193	4.4	690	325	289					
医学部	医学科 ※1	65	285	4.4	152	70	68	2.2																									100	441	4.4	231	105	103							
	看護学科	35	82	2.3	80	43	40	1.9	10	66	6.6	13	10	7	1.3	15	45	3.0	45	15	15	3.0													60	193	3.2	138	68	62					
	先進医療科学科 生命健康科学コース ※1	15	58	3.9	42	22	19	1.9	5	57	11.4	12	5	3	2.4																			20	115	5.8	54	27	22						
	先進医療科学科 臨床医工学コース	11	30	2.7	30	15	13	2.0	4	34	8.5	13	5	5	2.6																			15	64	4.3	43	20	18						
	医学部 計	126	455	3.6	304	150	140	2.0	19	157	8.3	38	20	15	1.9	15	45	3.0	45	15	15	3.0	35	156	4.5	79	35	35	2.3	若干	0	0	0	0	195	813	4.2	466	220	205					
理工学部	数理科学プログラム	257	430	1.7	402	15	12	1.3	53	373	7.0	101	13	11	1.4																			395	931	2.4	631	15	12						
	知能情報システムプログラム					38	34						9	23		2.6	23	9	9	2.6	5	10	2.0	10	6	6	1.7	若干	0	0	0	0	66	60											
	DX人材育成基盤プログラム					29	26						6	2		0.3	2	2	2	1.0	7	4	0.6	4	4	4	1.0	若干	0	0	0	0	45	40											
	物理学連携プログラム					11	9						11	10		0.9	10	7	7	1.4	2	4	2.0	4	3	3	1.3	若干	2	2	1	0	11	9											
	電気エネルギー・電子工学プログラム					48	47						10	19		1.9	19	10	10	1.9	5	5	1.0	5	5	5	1.0	若干	1	1	1	0	68	64											
	機械工学プログラム					47	43						6	8		1.3	8	3	3	2.7	1	2	2.0	2	1	1	0.0	若干	0	0	0	0	77	70											
	知能機械システムプログラム					21	20						12	22		1.8	22	14	14	1.6	2	2	1.0	2	2	2	1.0	若干	1	1	0	0	32	30											
	生命・物質化学プログラム					39	30						5	8		1.6	8	5	5	1.6	4	5	1.3	5	4	4	1.3	若干	0	0	0	0	62	53											
	地域環境科学プログラム					20	20						12	22		1.8	22	14	14	1.6	2	2	1.0	2	2	2	1.0	若干	1	1	0	0	22	22											
	建築学プログラム					30	28						11	4		4	11	4	4	1.4	59	92	1.6	92	50	50	1.8	26	32	1.2	32	25	25	1.3	若干	4	4	2	0	50	41				
	理工学部 計					257	430						53	373		7.0	101	73	57	1.4	59	92	1.6	92	50	50	1.8	26	32	1.2	32	25	25	1.3	若干	4	4	2	0	395	931	2.4	631	448	401
福祉健康科学部	理学療法コース ※1	22	41	1.9	36	24	24	1.5	3	67	22.3	9	4	4	2.3																									30	132	4.4	69	33	33
	社会福祉実践コース	19	43	2.3	42	23	23	1.8	4	42	10.5	15	4	4	3.8	12	45	3.8	45	13	13	3.5	5	24	4.8	24	5	5	4.8							35	130	3.7	102	40	40				
	心理学コース	27	71	2.6	61	31	30	2.0																									35	94	2.7	84	39	38							
	福祉健康科学部 計	68	155	2.3	139	78	77	1.8	7	109	15.6	24	8	8	3.0	12	45	3.8	45	13	13	3.5	13	47	3.6	47	13	13	3.6							100	356	3.6	255	112	111				
合 計		646	1,418	2.2	1,171	752	691	1.6	169	1,631	9.7	469	224	184	2.1	181	353	2.0	353	174	174	2.0	114	332	2.9	254	110	110	2.3	若干	9	9	6	1	1,110	3,7									

※1 一般選抜第1段階選抜合格者は、医学部医学科前期日程195名、医学部先進医療科学科生命健康科学コース前期日程45名、医学部先進医療科学科生命健康科学コース後期日程53名、福祉健康科学部理学療法コース後期日程52名。

令和7年度（2025年度） 入学者出身高校所在地別状況（総括表）

令和7年度(2025年度) 一般選抜合格者の成績

【前期日程】

学 部	学科・コース	募集 人員	合格 者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	72	72	1250	929.40	585.80	749.54
	特別支援教育コース	3	3	1250			
経済学部	総合経済学科	120	151	1050	770.70	581.30	633.30
医 学 部	医学科(一般枠)	55	60	1050	888.50	783.50	817.33
	医学科(地元出身者枠)	10	10	1050			
	看護学科	35	43	700	528.00	427.67	454.89
	先進医療科学科生命健康科学コース	15	22	1400	968.67	832.33	879.98
	先進医療科学科臨床医工学コース	11	15	1400	948.00	806.00	855.36
理工学部	数理科学プログラム	13	15	1050	655.25	480.00	563.20
	知能情報システムプログラム	37	38	1050	818.50	510.75	593.74
	物理学連携プログラム	10	11	1050	693.50	492.50	546.14
	電気エネルギー・電子工学プログラム	43	48	1050	753.25	396.50	480.85
	機械工学プログラム	42	47	1050	783.25	425.00	523.12
	知能機械システムプログラム	16	21	1050	632.50	428.75	500.30
	生命・物質化学プログラム	35	39	1050	863.50	503.75	580.05
	地域環境科学プログラム	13	20	1050	683.25	497.75	572.86
	建築学プログラム	28	30	1050	662.50	541.75	596.51
	DX人材育成基盤プログラム	20	29	1050	649.25	468.00	520.14
福祉健康科学 部	理学療法コース	22	24	1330	910.50	755.50	828.95
	社会福祉実践コース	19	23	1330	952.90	846.00	886.87
	心理学コース	27	31	1330	1013.60	834.20	882.64

【後期日程】

学 部	学科・コース	募集 人員	合格 者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	23	37	1250	966.53	627.10	802.20
	特別支援教育コース	2	2	1250			
経済学部	総合経済学科	65	84	750	535.70	462.40	485.28
医 学 部	医学科	—	—	—			
	看護学科	10	10	600			
	先進医療科学科生命健康科学コース	5	5	1300			
	先進医療科学科臨床医工学コース	4	5	1300			
	数理科学プログラム	—	—	—			
理工学部	知能情報システムプログラム	9	13	1125	829.750	677.500	789.300
	物理学連携プログラム	—	—	—			
	電気エネルギー・電子工学プログラム	9	9	1125			
	機械工学プログラム	10	14	1125	857.875	586.500	771.910
	知能機械システムプログラム	5	7	1125			
	生命・物質化学プログラム	5	9	1125			
	地域環境科学プログラム	—	—	—			
	建築学プログラム	8	11	1125	866.750	800.125	829.160
	DX人材育成基盤プログラム	7	10	1125			
	理学療法コース	3	4	1330			
福祉健康科学 部	社会福祉実践コース	4	4	1330			
	心理学コース	—	—	—			

※合格者が10名以内の場合、最高点、最低点及び平均点は非公表。

※経済学部及び理工学部前期日程の最高点、最低点及び平均点には、特色加点(配点20点)を含む。

令和9年度大分大学入学者選抜方法の変更について（予告）

＜教育学部＞

教育学部では、一般選抜後期日程における教科・科目に係る個別テスト等を以下のとおり変更します。

【変更前】

課程・コース	教科等
学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	小論文
	<u>グループディスカッション</u>



【変更後：令和9年度入試以降】

課程・コース	教科等
学校教育教員養成課程 初等中等教育コース	小論文
	<u>個人面接</u>

※特別支援教育コースに変更はありません。

＜理工学部＞

理工学部では、以下のとおり入学者選抜方法を変更します。

【主な変更点】

- 一般選抜前期日程の教科・科目に係る個別テストにおいて、「理科」を課さない。
- 一般選抜前期日程の大学入学共通テストにおいて、「理科」の配点を変更する。
- 一般選抜前期日程及び後期日程において、志望プログラム数を第3希望までに変更する。

（1）実施教科・科目等及び配点 ※前期日程のみ

- 物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、
知能機械システムプログラム、建築学プログラム

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
教科	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史 公 民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	特色 加点
国	国	共通テスト	150	75	50×2	150×2	200	25		850	
地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経	個別テスト等		200						200	
		計	150	75	300	300	200	25		1050	20
数	数I・数Aと数II・数B・数Cの2										
理	物と 化、生 から1 } の2										
外	英、独、仏、中、韓 から1										
情	情I [6教科8科目]										

□数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、
生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム

大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
教科	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史 公 民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	特色 加点
国	国	共通テスト	150	75	50×2	150×2	200	25		850	
地歴 公民	地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探、地総/歴総/公、 公・倫、公・政経	個別テスト等			200					200	
		計	150	75	300	300	200	25		1050	20
数	数I・数Aと数II・数B・数Cの2	[6教科8科目]									
理	物、化、生 から2										
外	英、独、仏、中、韓 から1										
情	情I										

(2) 大学入学共通テストの「理科」における選択科目について

前期日程及び後期日程において、下記プログラムのいずれかを志望する場合は、志望順位
に関わらず、大学入学共通テストで「物理」を選択していることが必要です。

- ・物理学連携プログラム（前期日程のみ募集）
- ・電気エネルギー・電子工学プログラム
- ・機械工学プログラム
- ・知能機械システムプログラム
- ・建築学プログラム

入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7471

FAX 097-554-7472

URL <https://www.oita-u.ac.jp/>